■基本目標3　新しいひとの流れをつくり移住定住を促す

推進会議の評価

基本目標	基準値	目標値	実績値（R2年4月1日～R5年3月31日）	令和4年度評価	今後の展開
移住定住促進施策による新たな転入者数	－	5年間で200人	63人（31.7%）	目標値の達成に向けて、改善や工夫が必要である。	村営住宅への入居や住宅取得奨励金の対象を拡大したことにより、令和4年度は、6世帯18人が移住しました。 今後も村の魅力を移住セミナーや移住情報サイトで発信することにより、転入者の増加を図ります。

施策名	重要業績評価指標（KPI）	基準値	目標値	実績値（R2年4月1日～R5年3月31日）	令和4年度　取組状況	今後の展開
（１）移住定住を促すための新たな居住環境の整備の推進						
①. 地域の活性化につながる居住環境の整備の推進	新規の賃貸住宅（空き家の活用を含む）	－	5年間で30戸	2戸（6.6%）	空き家バンクによる貸家の供給：1件	移住定住を促すための新たな居住環境の整備には、空き家の活用も効果的であることから、空き家バンクの運営や空き家を賃貸用住宅としてリフォームした場合の補助を継続して行います。
（２）移住定住に向けた住宅施策の推進						
①. 移住定住促進に向けた宅地・住宅供給のための施策の充実 ②. 総合的な移住定住促進支援の実施	住宅取得に向けた助成制度の利用者数	９件（H30）	5年間で50件	16件（32%）	住宅取得奨励金交付件数：4件	令和5年度より、住宅取得奨励金の対象額の拡充を行いました。 さらなる移住・定住の促進を推進するため、移住セミナーや移住相談時において、制度の周知を行います。
	空き家バンク成約数	３件（H30）	5年間で10件	15件（150%）	登録数：売家：2件　貸家：1件　売地：4件 成約数：売家：2件　貸家：1件　売地：0件	さらなる移住・定住の促進を図るため、空き家等の潜在している資源を有効に活用することのできる「空き家バンク制度」を継続して取り組みます。
	空き家の利活用に係る助成制度の利用件数	－	5年間で15件	３件（20%）	空き家賃貸用住宅リフォーム補助金：1件	空き家住宅の有効活用と移住定住の促進を図るため、賃貸用住宅としてリフォームした者に補助金を交付を継続して行います。 また、新規事業である空き家解体費用補助制度を所有者に周知し、空き家の利活用促進に取り組みます。
	体験住宅の入居世帯数	１世帯（H30）	5年間で5世帯	２世帯（40%）	1世帯（令和4年9月1日～令和5年8月31日）	これまで入居した世帯は、いずれも村内へ定住しています。今後も体験者へ積極的に村内物件情報や村営住宅の空き情報を提供し、定住につながるよう努めていきます。
	移住に係る相談件数	－	5年間で30件	72件（240%）	対面：11件　電話：9件	相談者のニーズを把握するとともに、県の移住セミナーや移住情報サイトを活用し、移住希望者へPRしていきます。また相談者の希望に応じた相談方法に柔軟に対応していきます。
	村営住宅等に入居した世帯の退去後の村内定住率	－	100%	38.4%	28.5%（定住2世帯/退去7世帯）	令和4年度に村営住宅を退去し、村内に定住した世帯は2世帯でした。引き続き、定住へと繋がるよう、空き家や土地の情報を発信していきます。
（３）村の魅力を発信する体制づくりの推進						
①. 東京から一番近い村の魅力創出 ②. シティプロモーションの推進	各種メディアへの対応件数	26件（H29）	5年間で150件	64件（42.6%）	20件	地上波やローカルテレビを初め、ロケ等の対応を積極的に実施しました。各種メディアで取り上げられる機会が増加傾向であるため、それらを活用し移住情報や観光情報などを積極的に提供していきます。
	村ホームページアクセス数	649,148件（H30）	100万件／年間	787,208件／年間（78.7%）	787,208件	情報量の充実を図るとともに、ニーズの把握やアクセスしやすい方法を検討し、利用者が利用しやすい環境をめざします。
	ふるさと応援寄附金受付件数	2,063件（H30）	5年間で2万件	10,351件（51.8%）	受入件数　4,041件 受入額　49,665千円	受付窓口サイト及び返礼品の拡充を行い、さらなる村の魅力発信と財源確保を図ります。